

I H クッキングヒーター

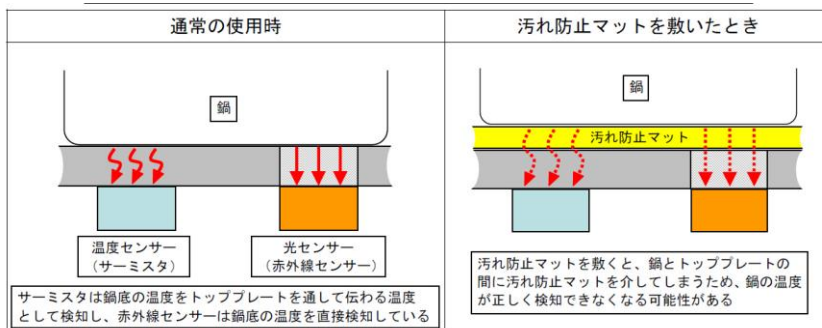
ガス火がなくても火災は起こる! ?

火災の内容

I H クッキングヒーターで食事準備のため、予熱で油を温めていたところ、鍋から炎が上がった火災である。

火災の原因

鍋底の温度をトッププレートを通して検知する温度センサーと、素早く温度を検知する光センサーが内蔵されている製品が、近年多くみられる。しかし、**鍋の下に汚れ防止マットを敷くと**、温度センサーが鍋の温度が正確に検知できなくなったものと考えられる。



汚れ防止マットの種類



シリコーン



ガラス繊維



マイカ（雲母）



結晶化ガラス

※独立行政法人国民生活センター：参照

I H クッキングヒーター用の汚れ防止マットは、スーパーやホームセンターなどで販売されており、主な材質は上記の4種類である。

汚れ防止マットを敷くことで場合によっては、I H クッキングヒーターが有する温度検知の機能が損なわれる可能性があるため、汚れ防止マットの注意事項と I H クッキングヒーターの取扱説明書を十分に確認して使用すること。

また、汚れ防止マットを敷いて油を加熱し続けると発火する可能性があることを認識し、調理中は絶対にその場を離れないこと。

使用上の注意

- 取扱説明書の注意表示を確認すること。
- 使用中はそばを離れず使用すること。
- 使用中に煙等の異常を感じた場合は、直ぐに使用を中止してください。
- 使用後はトッププレートの清掃を行うこと。

火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。

枚方寝屋川消防組合消防本部 警防部 警防課 指揮支援・調査隊